

ごみを出すルール

1. 燃えるごみと燃えないごみ

- 決められた袋に入れる。
- 登録番号をかく。
- 燃える物と燃えない物をきちんと分ける。
- 生ごみは、水切りを完全にする。
- ガラス、蛍光灯は、くだいて紙につつみ危険と書く。
- 袋を何重にもしない。（中が見えるようにする）
- 決められた時間に出す。

2. 資源ごみ

- ジュースや缶詰は、中をきれいにしてから出す。
- 新聞、チラシ、本などは、たばねてから出す。
- 牛乳パックは中を洗い、開いてたばねてから出す。
- 段ボールは、持ちやすいように折りたたみ、たばねてから出す。

おそろしいダイオキシン

ごみを燃やすと、煙とともにダイオキシンという毒物が出てきます。特にビニール、ナイロン、プラスチックなどのごみを燃やすとたくさん出てきます。

これが、直接体についたり、吸い込んだりした場合、体にさまざまな異常があらわれ、苦しむようになります。

学校では、みなさんが病気にかからないよう、校内で出るすべてのごみを清掃工場に燃やすことにしています。

ダイオキシンは、おそろしい毒物なので、家庭でも十分気をつけるようにしましょう。